

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	移植非適応の多発性骨髄腫患者におけるVRD-lite療法の効果
研究責任者	骨髄腫アミロイドーシスセンター センター長 鈴木 憲史
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>多発性骨髄腫の患者さんに対しては自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法(以下、自家移植)が有効とされていますが、副作用も多く、骨髄腫患者さんの多くをしめるご高齢の方は全身状態や合併症のため非適応とされる場合も多々あります。自家移植ができない骨髄腫の患者さんについては、プロテアソーム阻害薬・免疫調整薬・抗体医薬などを組み合わせた化学療法を主体とした治療が行われています。しかし、最適な治療はまだまだ定まっていません。当科では、腎機能の維持されている多発性骨髄腫の患者さんに対してはVRD-lite療法(ベルケイド、レブラミド、デキサメサゾン療法)を第一選択としています。これはご高齢の患者さんに対しても忍容性が高く、過去の海外の報告では無増悪生存期間が約35か月と良好な治療成績が報告されています。</p> <p>今回我々は移植非適応の多発性骨髄腫患者さんにおけるVRD-lite療法の効果を検討することに致しました。本治療の有用性を明らかにすることが本研究の目的です。</p>
研究方法	<p>○対象 2015年9月から2020年8月の期間に当院でVRD-lite療法を行った、自家末梢血幹細胞移植非適応の多発性骨髄腫の患者さん</p> <p>○方法 診療録(カルテ)を用いて、多発性骨髄腫に対する治療内容とその効果を収集する。収集されたデータを元にして下記の評価項目について検討する。</p> <p>○評価方法 ・VRD-lite療法の治療効果 ・無増悪生存期間 ・全生存期間 ・治療による合併症</p> <p>※倫理的配慮について 個人情報保護については十分に配慮して解析を行います。 対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方はお手数ですが下記までご連絡下さい。本研究へご協力頂けない場合でも、今後の診療において不利益を被ることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：小倉 瑞生 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>